



猪苗代スキー場で打ち上げられた花火

2000 発の花火が夜空を彩る

「いなわしろ雪花火」

「いなわしろ雪花火」は12月31日、猪苗代スキー場で打ち上げられ、約2000発の花火が冬の夜空を彩りました。オープニングセレモニーでは、二瓶盛一町長があいさつした後に、神田功猪苗代観光協会長のカウントダウンで花火の打ち上げがスタートしました。冬期間の観光客の誘客を図り、町の活性化のために打ち上げられた花火。小雨の降る中、スキー場の来場者らは、幻想的な光景を満喫していました。

補助事業の内容精査へ

町補助金等適正化委員会審議結果答申

町補助金等適正化委員会の齋藤憲郎委員長と武田英行副委員長は1月12日、町の令和6年度補助金等の諮問に対する審議結果を二瓶盛一町長に答申しました。

新型コロナウイルス感染症は、以前ほど猛威は振るってはいないものの、令和6年度においても少なからずその影響を受けることは想像に難くないため、補助事業の効果が最大限に見込まれるよう事業内容を精査することなどが答申されました。



答申書を手渡す齋藤委員長(中央)と武田副委員長(右)



多くの人でにぎわった中央通り商店街

縁起物に幸福願う

新春恒例の「十三日市」

新春恒例の初市「十三日市」は1月13日、中央通り商店街で開かれました。町商工会などで行く実行委員会が主催し、4年ぶりに通常開催されました。市開きでは、神事に続き、鏡開きを行ったほか、猪苗代町芸能保存会による太鼓の演奏が披露され、新年を祝いました。初市の会場には起き上がり小法師や風車、だるまなどの縁起物や飲食物などの露店が並びました。来場者は縁起物などを買い求め、今年一年の幸福を願いました。

今年1年の無火災・無災害を祈願

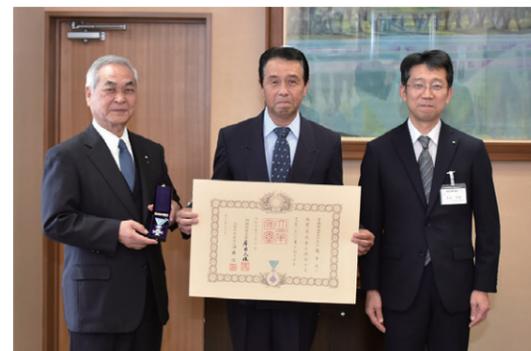
町消防団出初式

町消防団出初式は1月14日、町内の諏訪神社で行われ、消防団幹部や関係機関などから約40人が出席しました。式では神事が執り行われ、二瓶盛一町長、六角武志消防団長らが玉串をささげて、今年1年の無火災・無災害を祈願しました。また、六角団長があいさつを述べました。

式に先立ち、消防団員が町内を分列行進し、火災予防を呼び掛けました。



諏訪神社で神事を執り行う関係者ら



瑞宝単光章の伝達を受けた五十嵐さん(中央)

長年にわたる消防団活動をたたえ

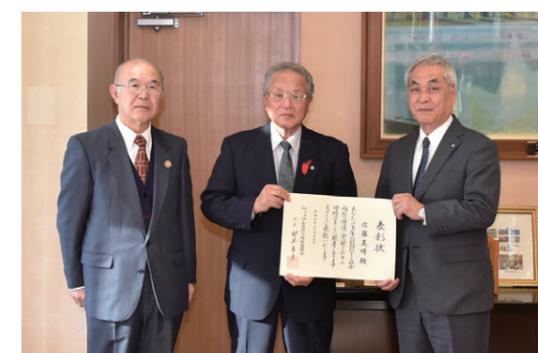
五十嵐幸夫さんに瑞宝単光章を伝達

秋の叙勲で瑞宝単光章を受章した元町消防団長の五十嵐幸夫さん(川桁)への叙勲伝達式は12月18日、町役場で行われ、本田伸雄会津地方振興局長が五十嵐さんに瑞宝単光章の勲記と勲章を手渡しました。五十嵐さんは昭和61年に町消防団に入団。平成29年から5年間団長を務め、約40年にわたって地域の安全・安心確保に向けた活動に尽力しました。五十嵐さんは「受章に恥じぬよう今後もさらに努力していきます」と話しました。

地域福祉への貢献をたたえる

佐藤美晴さんに全国社協会長表彰伝達

全国社会福祉協議会長表彰を受けた町民生・児童委員の佐藤美晴さん(壺下)への表彰状伝達式は12月19日、町役場で行われ、長年の功績をたたえました。伝達式では、二瓶盛一町長が佐藤さんに表彰状を手渡しました。現在まで約15年間同委員を、平成28年12月からは同委員協議会長を務めている佐藤さんは「皆様のご協力を受賞できました。これからも地域福祉に貢献していきます」と受賞の喜びを話しました。



二瓶町長から表彰状の伝達を受けた佐藤さん(中央)



受賞を報告した鈴木さん(左から2人目)と佐藤さん(右隣)ら

食生活改善事業普及向上をたたえ

県・会津地区食生活改善推進連絡協議会長表彰受賞報告

県食生活改善推進連絡協議会長表彰を受けた鈴木敬子さん(関脇)と会津地区食生活改善推進連絡協議会長表彰を受けた佐藤タカ子さん(島田)は12月20日、町食生活改善推進委員会の鈴木美弥子会長とともに町役場を訪れ、二瓶盛一町長に受賞を報告しました。鈴木さんは食生活改善推進員として20年以上、佐藤さんは10年以上継続して食生活改善運動に取り組んでおり、食生活改善事業の普及向上に努めています。

指定管理候補者を事業評価

公社等外郭団体点検評価委員会を開催

町公社等外郭団体点検評価委員会は12月26日、町役場で開かれました。同委員会は、学識経験者や企業経営に精通している7人で構成され、公の施設の指定管理者について、公募によらない選定を行う場合に開催されます。今回は、「猪苗代地区コミュニティセンター」など10施設について、施設の運営状況等や指定管理候補者としての適格性について審査を行いました。審査結果は、町長へ報告された後、町議会の議決を経て最終決定されます。



指定管理者の候補者を点検評価する委員ら



笑顔で記念品を手渡す JRC インターアクト委員会の生徒

高校生が献血を呼び掛け 猪苗代高校

猪苗代高校 JRC インターアクト委員会の生徒 7 人は 12 月 22 日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血に合わせてボランティア活動を行いました。生徒たちは、来庁者に献血の協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。3 年生の佐藤爽乃さんは「一人でも多くの人の命が助かるようにたくさんの人に献血してほしいです」と話しました。

野口英世博士の生家で団子さし 翁島小学校

野口英世記念館では 1 月 10 日、五穀豊穡や無病息災を願う小正月の伝統行事「団子さし」を行いました。

団子さしには翁島小学校の 1 年生と 3 年生の児童 30 人が参加。同館の八子弥寿男館長が「畑・田んぼの実りが良くなるようにと願いを込めて団子をさすのが正月行事の伝統です」とあいさつした後、児童は野口英世博士の生家に設置された大きなミズキの木の枝に、色とりどりの団子をバランスよく飾り付けました。



ミズキの木に団子を飾り付ける翁島小の児童

地域おこし協力隊通信



Instagram



Facebook



ファーマーズマーケットに参加した加藤さん(左)ら

私たちが地域を元気に！

地域おこし協力隊

加藤 律樹 さん

主な活動内容：観光振興、移住定住促進

こんにちは。商工観光課地域おこし協力隊の加藤律樹です。早いもので任用されてから 2 年が経とうとしています。今年度は移住定住相談イベントの福島くらし&しごとフェアや豊島区の I KE・SUN PARK で行われた物産イベントのファーマーズマーケットなど、多くのイベントに参加し、町外で猪苗代町の PR をしました。多くの人が猪苗代町を訪れるよう、関係人口創出に向けて今後も活動していきます。

私事ですが、この度空き家を取得しました。川桁駅のすぐ近くの元電気屋さんです。将来的にはこの空き家を使って、町内の人はもちろんですが、町内外問わず交流できる施設を作っていきたいと思っています。そして、お試し住宅を作り、猪苗代町の暮らしを体験してみたいと思っています。自身の事業である旅行業の KATIP (かとりっぷ) も事業拡大していきたいです。

退任まで残り 1 年と少しですが、今まで以上に担当する業務に取り組んでいきますので、応援の程よろしくお願ひします。



二瓶町長に要望書を手渡す神田功観光協会長(右から 2 人目)ら

雪不足に対する経済対策事業を 町内商工観光 3 団体が町に要望

猪苗代町商工会と(一社)猪苗代観光協会、株式会社まちづくり猪苗代の 3 団体は 1 月 17 日、町役場を訪れ、暖冬による雪不足の影響を受ける町内事業者への緊急経済対策に関する要望書を二瓶盛一町長に手渡しました。雪不足でスキー場などの観光施設は来場者が大幅に減り、関連事業者も売上高が減少していることから、早急な経済対策事業の実施を二瓶町長に求め、対応可能な経済対策について協議しました。

冬山遭難に備えて訓練

裏磐梯スキー場で冬山遭難救助訓練を実施

町山岳会や警察署、消防署などで組織する猪苗代地区山岳遭難対策協議会は 1 月 19 日、裏磐梯スキー場で冬山遭難救助訓練を実施しました。

訓練には、同協議会の会員ら約 25 人が参加。スノーシューをつけた歩行訓練や遭難者が雪に埋まったことを想定した捜索訓練などを行いました。参加者は、遭難救助に必要な技術や知識の向上に向けて訓練に取り組みました。



プロブ(棒)を使って雪に埋まった遭難者の捜索訓練をする参加者



リステル敷地内を練り歩く雪女行列

雪女が豊雪を祈願する

「雪女まつり 2024」

豊雪を祈願するイベント「雪女まつり 2024」が 1 月 20 日にホテルリステル猪苗代で、21 日に中ノ沢温泉街で開かれました。2018 年から始まったこのイベントは今回で 6 回目の開催。初開催となったリステル会場では、雪女撮影会や妖怪ステージショーを開いた後、雪女や妖怪などに扮した参加者が青色の提灯を持って敷地内を練り歩きました。祭の神や雪舞い・雪乞いの儀式も行われ、豊雪を祈願しました。

貴重な文化財を火災から守る

文化財防火デー火災防御訓練

町内の貴重な文化財を守るための「第 70 回文化財防火デー火災防御訓練」は 1 月 21 日、天鏡閣で行われ、消防団員や消防署員ら約 130 人が参加し、文化財の搬出や初期消火、放水などの訓練を実施しました。訓練終了後、二瓶盛一町長が「日頃の成果が遺憾なく発揮され、有事の際の備えが万全であると感じました。心身、技術の鍛錬に精励され、不測の災禍にその威力を発揮することに期待しています」と講評を述べました。



放水訓練を行う消防団員